



友測中学校

所在地	〒534-0016 都島区友測町1-5-151		
電 話	06-6928-1970	F A X	06-6925-3966
H P	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j522034 ※「大阪市立友測中学校」で検索してください。		
校長名	上田 健二		



本校は、昭和59年4月に高倉中学校より分離独立して創設されました。

地域は、旧鐘紡の跡地に計画的に建設された大規模な高層住宅に囲まれ、大川沿いの毛馬桜之宮公園を擁して、緑多く、小鳥のさえずる閑静な環境にあります。春は桜が咲き誇り、秋には紅葉に包まれる、都心にありながら四季の変化を感じられる素晴らしい地域です。

そのような環境の中で、創立時より知・徳・体の全人格の育成をめざして、生徒・保護者・地域・学校が一体となって伝統を積み重ねています。一人ひとりが尊重される社会をめざし、いかに社会が多様化し変化しようとも「心豊かに力強く生き抜き、未来を切り拓く力」の育成に努め、『将来の社会の形成者を育てる』ことを目標として、日々の教育活動に取り組んでいます。

校長 上田 健二

● 「運営に関する計画」の概要

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

- 日常の教育活動や学校行事において、集団づくりに重点を置き、班活動を通じて相手の気持ちを考える生徒を育てるとともに、ちがいを認め合い、お互いに支えあえる集団づくりに努め、一人ひとりが安心して学校生活を送れる学校づくりをめざす。目標値として、年度末の校内調査において、「学校に行くのは楽しい」との肯定的意見83%以上を維持する。(昨年度82.1%)
- 不登校傾向の生徒の状況を十分に把握し、教職員で共通理解を図る。そのうえで、校内におけるいじめ・不登校対策委員会においてケース会議を行う。当該生徒・保護者と密接につながり、また、関係諸機関とも連携し、当該生徒が安定した気持ちで生活できるように努める。目標値として、こども相談センターや区役所子育て支援室との協議内容を充実したものとするとともに、新たに不登校になる生徒の割合を1%以下とする。(昨年度1.0%)
- 学校教育目標の3つの心(挑戦心、利他心、自律心)の育成を授業、学校行事、学年行事で取り組み、年度末の校内調査において「自分にはよいところがあると思う」との肯定的意見を83%以上とする。(昨年度82.0%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校の年度目標

- 生徒が積極的に参加する授業を創造するとともに、体験的な活動を積極的に実施し、自ら学ぶ生徒を育成するよう努める。年度末の校内調査で「前向きに授業に取り組んでいる」生徒の割合91%以上を維持する。(昨年度90.8%)
- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を47%以上にする。(昨年度46.9%)
- 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を68%以上にする。(昨年度67.5%)

【学びを支える教育環境の充実】

学校の年度目標

- 授業日において、生徒の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。

● 各種活動成績等

男子バスケットボール部 大阪市春季総体 優勝
 サッカー部 大阪市春季総体 優勝
 陸上部 全国大会2名出場、近畿大会2名出場

● 学力の状況と学力向上に向けた取組

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果

○平均正答率(%)

国語	数学
64	60

○結果の概要

全国学力・学習状況調査結果平均正答率では、国語で5.9ポイント、数学で7.5ポイント、全国平均を上回っており、学力向上の取組の成果が継続して表れています。また、生徒質問紙からは、学校での授業時間以外の学習時間(学習塾・家庭教師を含む)が全国平均を上回っており、家庭での学習習慣は定着していると考えられます。

取組の成果と課題、アクションプラン

学校生活アンケートにおいて「国語の授業の内容は理解できる」肯定的回答94.9%(前年比0.5P減少)。「国語の学習に前向きに取り組んでいる」肯定的回答92.9%(前年度比1.5P減少)。「数学の授業の内容は理解できる」肯定的回答85.9%(前年比1.5P上昇)。「数学の学習に前向きに取り組んでいる」肯定的回答91.1%(前年度比0.3P減少)。「英語の授業の内容は理解できる」肯定的回答88.1%(前年比5.8P上昇)。この結果から、学習指導要領が目指す「知識・技能」を踏まえて「思考力・判断力・表現力」の実践から「学びに向かう力・人間性の涵養」を授業の中で取り組むことで「主体的に学ぶ力の育成」に努めていきます。

● 体力の状況と体力向上に向けた取組

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果

○種目別平均値

	握力	上 体 起 こ し	長 座 前 屈	反 復 横 と び	持久走	20m シャトルラン	50m走	立 幅 と び	ち ん ど り ん ど り ん ど	体 力 合 計 点
男子	26.6	27.6	44.2	48.2	415.6	78.7	8.04	201.1	21.3	40.9
女子	21.7	23.7	49.5	44.3	325.0	51.4	8.85	180.2	12.5	49.6

○結果の概要

男子は、体力合計点で全国平均を下回りました。しかし、上体起こし・持久走・立ち幅とび・ハンドボール投げにおいては、全国平均を超えています。

女子は、体力合計点で全国平均を上回りました。その中で、9種目中7種目が全国平均を上回る結果となりました。

取組の成果と課題、アクションプラン

生徒質問紙において「学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか」において部活動やスポーツクラブに加入している割合は、本校の子どもたちは大阪市、全国に比べて高く、また「学校の保健体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツを1日どのくらいの時間していますか」の問いに対して、本校の生徒の割合が大阪市、全国に比べて運動している割合が高くなっています。

● 休日行事等の内容

※状況により日程変更や中止する場合があります

予定なし

【学力と体力の状況調査については18ページに全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】

友渕中学校グランドデザイン

1. 真理を探究し、創造性豊かな生徒を育成する(挑戦心)
2. 勤労を重んじ、根気強くやり抜く生徒を育成する(利他心)
3. 誠実にして、責任感が強く、他人と協調できる生徒を育成する(自律心)

挑戦心

挑1、困難な壁にぶつかっても、その壁を避けるのではなく、前向きに取り組むことができる

挑2、自分が学ぶということに対して、イヤがるのではなく、むしろ楽しむことができる

挑3、一つの手段や方法で取組むのではなく、ありとあらゆる手段や方法を探究することができる

利他心

利1、相手の話を誠実に聞くことができるとともに、自分の意見も的確に言うことができる

利2、自分と相手の意見の違いや個性の違いを理解しながら、助け合いや支え合いができる

利3、相手やクラスや学校のためになることを考え、自ら進んで行動へ移すことができる

自律心

自1、自分の中にある腹立ちや苛立ちの感情に折り合いをつけながら、安定した行動ができる

自2、自分の考えを持って判断して自分の言葉で伝えることができる

自3、困ったときに周りの人に「助けて」と伝えることができる



○卒業後の主な進路(令和6年度) ※カッコ内は進学人数。

【国公立】旭(12)、桜宮(5)、東(8)、清水谷(7)、市岡(5)、芦間(6)、北野(4)、大手前(9)、天王寺(3)、四條畷(6)、桜和(7)

(109名)

【私立】興国(3)、上宮(7)、追手門大手門(3)、大阪(8)、大阪国際(5)、大阪産業大学附属(9)、常翔(34)、東海大附属大阪仰星(3)、大阪学院(6)、大阪信愛学院(9)、四條畷学園(8)、長尾谷(3)

(150名)

【その他】

(2名)